OUKA
Osaka University Knowledge Archive

Title	太宰治スタディーズ　第3号　目次
Author(s)	
Citation	太宰治スタディーズ. 2010, 3
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/97688
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

Osaka University

「太宰治スタディーズ」第3号（2010.06） 目次

イントロダクション――『晩年』前後の「キヤラクタア」へ逆行する　小澤 純　4

小特集『晩年』生成とメディア

滝口 明祥　「海豹」――太宰治にとってのスプリングボード　8
青木 京子　「文藝」――文芸復興期と外国文学　11
内海 紀子　「鷭」――プロデュースへの情熱　14
小澤 純　「世紀」――同世代に反響する「彼は昔の彼ならず」　18
大國 眞希　「青い花」と「日本浪曼派」――白と青そして水平と垂直　21
松本 和也　「作品」――新進作家の檜舞台　25
斎藤 理生　「文學界」――非「商業主義」というアイデンティティの行方　28
井原 あや　「文藝春秋」――イベンターとしての「文藝春秋」　32
平 浩一　「帝國大學新聞」――掌編「盗賊」の背景と「逆行」　36
長原しのぶ　「新潮」――小説家「太宰」と人間「太宰」を支えるもの　39
吉岡 真緒　「文藝雑誌」――文士の起業　43

総特集『晩年』前後――研究論文

滝口明祥　立身出世と〈あんま〉――太宰治「思ひ出」　48
青木京子　太宰治「思ひ出」論――大正デモクラシーをめぐって　69
大國眞希　虹と水平線以前　天国と地獄の接触点――「道化の華」　86
内海紀子　フラグメントと再構築――太宰治「道化の華」、尾崎翠「こほろぎ嬢」　100
斎藤理生　人間たちはそれを読む――太宰治「猿ケ島」論　114
井原あや　太宰治「川端康成へ」小論――一九三五年前後の〈川端康成〉を手がかりに　125
長原しのぶ　太宰治「地球図」論――〈聖〉の純化と〈俗〉化する場　134
松本和也　不思議な暗合――太宰治「地球図」・高木卓「獄門片影」・坂口安吾「イノチガケ」　145
吉岡真緒　太宰治「陰火」論――共にあろうとすること　155
小澤純　都鄙にひらく《玩具箱》――『晩年』の中の「葉」「玩具」　166

書評／新刊紹介

青木京子著『太宰文学の女性像』（思文閣出版）　竹田志保　184
松本和也著『昭和十年前後の太宰治　〈青年〉・メディア・テクスト』（ひつじ書房）　山根龍一　186
大國眞希著『虹と水平線――太宰文学における透視図法と色彩――』（おうふう）　位田将司　188
斎藤理生・松本和也編『新世紀　太宰治』（双文社出版）　西井弥生子　190

著者紹介・編集後記　192